岡山赤十字病院

日本赤十字社

No.98
秋号
2026.10

日赤ふれあい新聞



難しい病気だからこそ、最善の治療を届けたい

＊ 肝胆膵外科　杭瀬 崇 医師 インタビュー
＊ 人間ドックのすすめ。 年に一度は健診を受けましょう。
＊ 令和8年熊本地震出動記録（熊本市）
・DMAT（災害派遣医療チーム）・日本赤十字社岡山県支部救護班第1班

左記二次元コードより過去の記事などをご覧いただけます

理念●信頼され親しまれる病院に

手をつなぐぬくもり　― 地域とともに ―
「愛と心」がかよう医療を皆さまに提供します

岡山赤十字病院基本方針

1. 患者の皆さまの権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
2. 地域の中核病院として、高度で安全な急性期医療の提供に努めます。
3. 地域医療機関等との連携を密にし、患者の皆さまに適した医療を提供します。
4. 救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院としての機能の充実に努めます。
5. 災害に対応した医療救護活動を積極的に行います。
6. 優秀な人材を確保し、次代の医療を担う人材の育成に努めます。
7. 良質な医療活動を遂行するため、医療施策に沿って健全な病院運営に努めます。

難しい病気だからこそ、最善の治療を届けたい

インタビュー　肝胆膵外科　杭瀬 崇 医師

肝臓、胆道、膵臓の病気は、外科治療の中でも特に高度な専門性が求められる領域です。
その最前線で診療にあたる杭瀬崇医師に、肝胆膵外科を選んだきっかけや診療への思い、そして地域のみなさまへのメッセージを伺いました。



肝胆膵外科を選んだ理由

―― まず、ご専門について教えてください。

肝臓がん、膵臓がん、胆管がんなどを中心に診療する肝胆膵外科を専門としています。
肝臓や膵臓の周囲には重要な血管が多く存在しており、時には血管を切除・再建しながら手術を行うこともあります。外科の中でも特に難易度が高い領域の一つとされています。

―― なぜ肝胆膵外科の道を選ばれたのでしょうか。

医学部 6 年生の時に実習で出会った肝胆膵外科医の存在が大きかったですね。
重症の患者さんに対して「自分なら治せる、やってみよう」と立ち向かうその先生の姿を見て、とても強い憧れを持ちました。
「自分もこの分野で挑戦したい」と思ったのがきっかけです。

高度な技術が求められる肝胆膵外科



―― 肝胆膵外科はどのような特徴がありますか。

肝胆膵領域は、お腹の中でも特に難易度の高い手術を行う分野です。
肝臓や膵臓の病気では、重要な血管と接していることも多く、高度な技術や豊富な経験が必要になります。
一方で、近年はロボット支援手術も導入され、患者さんの負担を抑えながら治療できる場面も増えてきました。
これまで培ってきた経験を活かしながら患者さん一人ひとりに最適な外科治療を提供したいと思っています。

膵臓がん治療で大切にしていること

―― 特に膵臓がんの治療で大切にしていることを教えてください。

膵臓がんは、手術だけで治る病気ではありません。
抗がん剤治療、手術、そして術後治療まで含めて一つの治療です。
そのため、肝胆膵外科医や原田先生を中心とした胆膵内科医だけでなく、放射線科医、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフなど、多くの職種で連携することが欠かせません。
当院では常にチームで連携しながら、一人ひとりの患者さんにとって最適な治療のタイミングを検討しています。
こうしたチーム医療が、より良い治療成績につながっていると感じています。

患者さんからの言葉が力になる

―― 医師としてやりがいを感じるのはどのような時ですか。

自分の担当した患者さんが術後何年も健康でいてもらえることですかね。
特に近年は、以前であれば手術ができないとされた高度進行膵臓がんでも、抗がん剤治療と手術を組み合わせることで長期間再発なく過ごされる患者さんが増えてきました。
そうした患者さんの元気な姿を見ると、この仕事を続けてきて本当に良かったと思います。



地域の皆さまへのメッセージ

―― 最後に、地域の皆さまへメッセージをお願いします。

肝臓や膵臓の病気は、自覚症状が少なく、早期発見が大切です。健診で異常を指摘されたときや、かかりつけ医の先生から精密検査を勧められたときは、早めにご相談ください。
また、肝胆膵領域の治療は外科医だけでなく、消化器内科医、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなど多くの職種が関わるチーム医療が欠かせません。
当院では地域の医療機関の先生方とも連携しながら、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供できるよう努めています。不安なことがあれば、一人で抱え込まず、まずはご相談いただければと思います。

診療科目：肝胆膵外科・消化器外科

杭瀬 崇 医師

資格
日本外科学会　指導医・専門医
日本消化器外科学会　指導医・専門医
日本肝胆膵外科学会　高度技能専門医
日本肝臓学会　肝臓専門医
da Vinci Console Surgeon Certificate
日本肝胆膵外科学会　ロボット支援手術プロクター（肝部分切除、外側区域切除）
日本がん治療認定医機構　がん治療認定医
日本移植学会　移植認定医

備考
岡山大学医学部医学科　臨床准教授
日本肝胆膵外科学会　評議員
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了
おかやま DMAT 隊員

令和8年熊本地震出動記録（熊本市）

DMAT（災害派遣医療チーム）

救急科部　有嶋拓郎

熊本県には、布田川断層帯と比奈久断層帯が、イタリック体『T』の字のように並んでいます。横棒が布田川断層帯で縦棒が比奈久断層帯です。横棒の終点が南阿蘇村で、縦棒と横棒の交点が益城町あたりで、縦棒は宇城市を経て八代海に抜けます。2016年の熊本地震は布田川断層帯で、今回は比奈久断層帯でした。

熊本県では、７月28日の地震発生直後にDMAT調整本部が熊本県庁に設置され、19：06には済生会熊本病院にDMAT活動拠点本部（活拠）が立ち上がっています。県南圏域では熊本労災病院（八代市）がその任に当たっています。

当院のDMAT出動は、２次隊要請に応えるもので、出発は７月30日の６:30でした。





７月30日（木）　往路　済生会熊本病院での夕方の全体会議に出席
７月31日（金）　熊本大学病院での病院支援
８月１日（土）　済生会熊本病院（活拠）で本部の活動支援班に配属
８月２日（日）　活動拠点本部活動支援班に配属
８月３日（月）　午前　活動拠点本部の活動支援班の引き継ぎ　午後　DMATカーを日赤熊本県支部に置いて新幹線にて岡山へ移動　18:30　帰任。

来たるべき東南海地震に備えて受援を含めてどのような体制を構築していくべきか済生会熊本病院や熊本大学病院に多くを学ばせていただいた5日間でした。

日本赤十字社岡山県支部救護班第1班

5東病棟　都能美絵

令和8年熊本地震災害における日赤救護班としての活動を報告いたします。本派遣では、施設避難所のアセスメントや、巡回診療相談を通じ、生活状況の把握と被災者支援に従事しました。アセスメントを通じ、医療ニーズが落ち着くにつれ、支援の中心が「こころのケア」へ移行していく過程を実感しました。診療や相談の場では、単に症状を診るだけでなく、被災者の話にじっくりと耳を傾け、抱える不安や疲労感に寄り添う関わりを大切にしました。また、住民同士が助け合う姿が印象に残る一方、避難所を運営する自治体職員も被災者でありながら懸命に職務遂行している姿を見受け、「支援する側への支援」の必要性を痛感しました。こうした対話、関わりから得た気づきや現場での課題を、J-speedやD24H等へ正確に入力･集約できたことは、変化するニーズを可視化し、適切な支援体制を構築する上で大きな役割を果たしたと感じています。連日酷暑環境下での活動となりましたが、救護班全員で協力し合い一丸となって活動することができました。今後の中長期的な生活･精神的支援へ向けて、現場で懸命に生きる方々の想いに寄り添う姿勢と情報連携を大切にし、今回の活動の成果が次班へつながればと思います。





当院より令和8年熊本地震の被災地へ救護班等を派遣しました

種　別	派遣期間
DMAT（災害派遣医療チーム）	令和８年７月30日～８月３日
DMATコーディネーションチーム	令和８年７月31日～８月８日
日赤災害医療コーディネートチーム	令和８年８月29日～９月５日
救護班１班	令和８年８月８日～13日
救護班２班	令和８年８月17日～22日
救護班３班	令和８年９月１日～６日
こころのケア調整班①	令和８年８月５日～９日
こころのケア調整班②	令和８年８月24日～29日
こころのケア１班	令和８年８月14日～20日
こころのケア２班	令和８年８月18日～24日
こころのケア３班	令和８年９月19日～25日

人間ドックのすすめ。年に一度は健診を受けましょう。

健診部　牧田文子

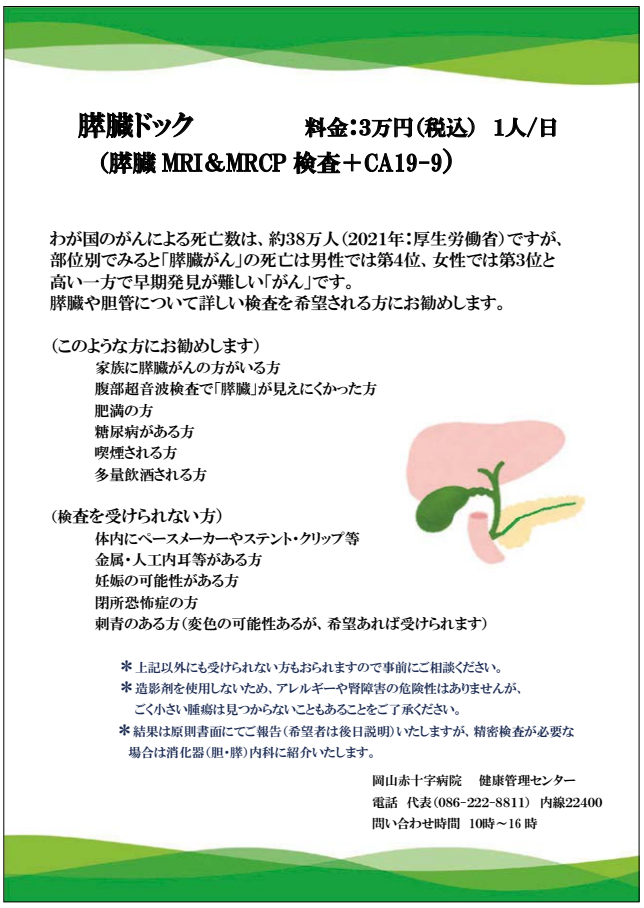
岡山赤十字病院健康管理センターは、1961年に開設された病院併設型の健診施設です。2000年からは病棟から独立し、センター棟4階を健診専用施設として運用しています。

年々、受診者数は増えており、2025年度には9,666人の方に受診していただきました。

健診の種類は、人間ドック（日帰り、一泊二日、脳ドック）のほか、生活習慣病健診、乳がん健診、婦人科健診、特定健診、定期健診、岡山市の各種健診などがあります。

また、受診者のニーズに合わせて、毎年新しいオプション検査を追加しています。現在は、胸部低線量CT、骨密度検査、InBody検査に加え、2025年度から「アイドック」「膵臓ドック」「腸内フローラ検査」を新たなオプションとして開始しました。

さらに、今年度からは「睡眠時無呼吸検査」も開始しました。夜間のいびきや日中の眠気など、心当たりのある症状がある方は、健診当日に追加することも可能ですので、どうぞお気軽にお申し出ください。



健診後の迅速なフォローアップ

日赤病院で健診を受ける大きなメリットの一つは、健診の専門性の高さと、その後の迅速なフォローアップだと考えています。

人間ドックを受けられた方は原則として当日に結果説明を行っています。

胃のバリウム検査で精密検査が必要となった方や、便潜血検査が陽性となった方は、結果説明の当日に胃内視鏡検査や大腸内視鏡検査の予約を取ることができます。

また、胸部X線検査で精密検査が必要となった方についても、当日に胸部CT検査を予約することが可能です。後日、呼吸器内科の専門医から検査結果の説明を受けることもできます。

そのほかの健診項目で精密検査が必要となった場合にも、ご希望があれば健診センターから病院の受診予約をお取りし、精密検査が必要な方ができるだけ早く受診できるよう対応しています。

年に一度、ご自身の健康を見つめる機会に

人間ドックの良いところは、一日で全身の健康状態をチェックできることだと思います。

持病があり定期的に受診されている方も、健診以外にはほとんど病院を受診することがない方も、年に一度人間ドックを受けることでご自身の健康状態を確認し、「明日からまた頑張ろう」と前向きな気持ちになれるのではないでしょうか。

「2人に1人ががんになる時代」といわれています。病気にならないことが一番ですが、もし病気になったとしても、早期に発見し、早期に治療につなげることで、治癒が期待できる可能性が高まります。

皆さまの健康増進のお手伝いができるよう、スタッフ一同、精一杯取り組んでいます。

ぜひ年に一度、人間ドックを受けて、ご自身の健康を見つめ直す機会にしてみてください。

＋外来診療表＋

■最新の診療表はホームページに掲載しております。

令和8年10月1日現在

		月	火	水	木	金
一般内科	午前	物部	宗石	中井	藤森	中山み
		中山智(隔週)	小橋(隔週)		長田(隔週)	松尾(隔週)
		前川(隔週)	太田(隔週)	三浦	横出(隔週)	西原(隔週)
総合内科	午前			藤原隆		
血液内科	午前	新谷	木村	吉岡	新谷	木村
		藤原悠				村山
糖尿病内科	午前	宮下	牧田		塚本	藤原隆
糖尿病・内分泌内科	午前			佐住(岡大)	若林	長谷川
膠原病・リウマチ内科	午前	小山		小山		(岡大医師)
		中井				
腎臓内科	午前		岡本		岡本	
消化器内科	午前	秋田	平岡	井上雅	平岡	井上雅
			片岡	秋田		中山博
			中山博			
肝臓内科	午前	小橋		歳森	小橋	歳森
胆膵内科	午前	原田	秋元	原田	秋元	
呼吸器内科	午前	佐久川	別所	萱谷	佐久川	萱谷
			田岡			
		小柳	宮原	小柳	田岡	宮原
循環器内科	午前	福家	田中正	福家	齋藤	田中正
		松浦		柚木	坂東	柚木
脳神経内科	午前		武久		武久	
糖尿病内科	午後※1		岡田震			
糖尿病・内分泌内科	午後※1		長谷川			
呼吸器内科	午後※1				佐久川(喘息外来)	別所(禁煙外来) ※隔週
循環器内科	午後※1	齋藤(PM) ※第2週のみ		田中正(PM) ※第2週のみ		循環器内科医師(PM) ※第2週のみ
				柚木(下肢血管外来) ※第2週以外		
脳神経内科	午後※1					武久※2

※1 予約患者(再診)のみの専門外来14:00～　※2 13:00～事前予約の紹介患者さんのみ
(PM)＝ペースメーカー外来

		月	火	水	木	金
緩和ケア科	午前	喜多嶋	深松	喜多嶋	喜多嶋	深松
	午後		入棟面談※		入棟面談※	

※入棟面談：火・木曜日の午後 14:00～15:00喜多嶋、15:00～16:00深松 予約制(緩和ケア入棟面談)

		月	火	水	木	金
脳卒中科	午前	岩永			岡田博	
		山下睦				
	午後			植村		山下眞

※原則予約制

		月	火	水	木	金
精神神経科(完全予約制)	午前	松田	石川真	辻野修	松田	石川真
		石川真		松田	石川真	
		中島	中島	中島	中島	中島
岡山市認知症疾患医療センター(完全予約制)		○	○	○	○	○
小児科	午前 1	藤井	池田恵	後藤	藤井	後藤
	午前 2	清水	新治	廻	廻	新治
	午前 3	樋口	荒木	秋山(神経) ※第2・4週のみ	清水	平井(循環) 心エコー予約制
	午前 4			綾		綾
	午後(完全予約制)	後藤(神経)	中原(外科) ※第2・4週のみ	藤井(アレ)	池田恵(健診)	池田恵
		綾(予防)			廻(健診)	平井(循環) 心エコー予約制
		樋口(予防)	井上勝(分泌)	廻(分泌)	清水(健診)	綾(予防)
					樋口(健診)	樋口(予防)

※予防接種…13:30～14:00、乳幼児健診…13:30～15:00　(予防)＝予防接種　(外科)＝小児外科　(分泌)＝内分泌　(アレ)＝アレルギー　(健診)＝乳幼児健診　(循環)＝小児循環器

		月	火	水	木	金
乳腺・内分泌外科	午前		辻	原		吉富
消化器外科	午前	杭瀬(肝・胆・膵)	高木(上部消化管)	池田英(下部消化管)	池田英(下部消化管) 高木(上部消化管)	松村(上部消化管)
		山田(肝・胆・膵)	山野(肝・胆・膵)	赤井(上部消化管)	山野(肝・胆・膵) 丸山(下部消化管)	熊野(下部消化管)
呼吸器外科	午前	黒﨑			黒﨑	
		難波				
心臓血管外科	午前	加藤源			加藤源	
外科	午後	手術	手術	手術		手術
乳腺外来※1	午後		辻※第1・3・5週		吉富	
			吉富		原	
			森川		森川	
心臓血管外科	午後			三谷英		

※1 乳腺外来(火・木) 受付12:30～15:30 診察13:30～17:00

			月	火	水	木	金
整形外科(完全予約制)	午前		三宅(股関節)	髙橋(脊椎)	古松(膝関節)	三宅(股関節)	髙橋(脊椎)
			馬﨑(脊椎)	荒瀧(脊椎)		杉生(膝関節)	荒瀧(脊椎)
			杉生(膝関節)	堀田(上肢) ※第1火曜日は休診		竹下(手・上肢) ※第2・4週	馬﨑(脊椎)
							堀田(上肢)
	午後		手術	手術	手術	手術	手術
脳神経外科／脳血管内治療外科	午前	1	竹内勇	西田	休診(手術)	竹内勇	西田
		2	水田				水田
	午後						
皮膚科	午前	1	横山	横山	光井	光井	横山
		2	横溝	加藤あ	横溝	加藤あ	横溝
	午後		光線治療	手術	検査	手術	褥瘡回診
泌尿器科	午前	1	竹中	竹中	佐々木克	交代制(予約のみ)	佐々木克
		2	小田	宗田	宗田		小田
	午後		手術	検査	検査	手術	検査
産婦人科	午前	初再	佐々木佳	柏原	山本	相本	秋定
		妊婦※1	相本	山本	秋定	柏原	佐々木佳
	午後		手術	検査	手術	検査/産後1か月健診※2	手術

※1 妊婦健診／再診　※2 木曜日13:00～産後1か月健診

			月	火	水	木	金
眼科	午前		今村	今村	今村	有安	今村
			有安	三野	有安	三野	有安
			三野				
	午後		手術	検査	検査	検査	処置

※ 原則予約制

			月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科(午後は全て予約制)	午前	1	竹内彩	休診(手術)	藤	休診(手術)	竹内彩
		2	藤澤		藤澤		藤
	午後	1	竹内彩		藤		竹内彩
		2	藤澤		藤澤		藤
形成外科	午前	1		栗山	杉山		杉山
		2		三谷遥	瀬谷		栗山
	午後			杉山(15:30まで)			
放射線科	胃透視		石井裕	石井裕	石井裕	石井裕	石井裕
	一般読影		橋村	橋村	橋村	橋村	橋村
	IVR外来		石井裕	石井裕	石井裕	石井裕	石井裕
	CT/MRI		橋村/塩出	橋村/塩出	橋村/塩出	橋村/塩出	橋村/塩出
			石井裕/左村	石井裕/左村	石井裕/左村	石井裕/左村	石井裕/左村
	RI		石井裕	左村	塩出	左村	塩出
	治療診察		姫井	姫井	姫井(午後のみ)	姫井	姫井
麻酔科／ペインクリニック／術前外来	午前	1	岩崎	麻酔科医師	石川友	麻酔科医師	福島
		2	神原		赤澤		石井瑞
	午後	1	岩崎	谷西	石川友	三枝	福島

※ 原則予約制(初診は、他の医療機関より事前予約の方のみ)　※火・木曜日は術前外来のみ

歯科	※入院患者さんと院内紹介に対応しています

		月	火	水	木	金
看護／助産外来	助産(再診のみ)	午後のみ				
	フットケア(糖尿病患者のみ)		午前のみ		午前のみ	
	ストーマケア			午前のみ	午前/午後	午前のみ

●診療受付時間

【初診】8:00～11:30　【再診】7:45～11:30　※午後の診療は専門外来です。

●休診日

土曜・日曜・祝日・振替休日　年末年始(12/29 ～ 1/3)　創立記念日(5/28)
※急患については、休診日や診療時間帯にかかわらず、救命救急センター(救急外来)にて診療しています。

日本赤十字社

岡山赤十字病院

〒700-8607　岡山市北区青江二丁目1番1号
TEL(086)222-8811㈹　FAX(086)222-8841
https://www.okayama-med.jrc.or.jp/

▶初診の患者さま

新来受付 ↓ 各科受付

紹介状※1、マイナンバーカード又は資格確認書、各種医療受給者証等をご提示のうえ、受診する科をお伝えください。申込用紙をご記入いただいた後、受付票と問診票をお渡しします。問診票をご記入ください。ご記入後は各科受付にご提出のうえ、各科待合ホールにてお待ちください。

※1 紹介状をお持ちでない方は初診時特定療養費が必要となります。

▶再診の患者さま

自動再来機

診察カードを挿入し、受診する科を画面上で選択してください※2。診察カードが返却され受付票が発行されます。
受付票はファイルに入れてお持ちください。
(予約のある方) ▶▶▶そのまま各科待合ホールでお待ちください※3。
(予約のない方) ▶▶▶かならず最初に各科受付へお立ち寄りください。

※2 月に1度、もしくは変更になった場合にマイナンバーカード又は資格確認書、各種医療受給者証等をご提示ください。　※3 診察前に検査等がある場合は先に済ませてください。

日赤ふれあい新聞　第98号秋　2026年10月20日発行　発行部数4,000部　発行責任者：広報委員会　印刷：株式会社中野コロタイプ